

不忍池界隈の老舗の魅力を若手アーティストが再発見！

主催 藝を育むまち同好会

日程 オンライン配信:令和3年12月1日～、展示:12月1日～7日、8～12日

会場 オンライン配信、上野松坂屋(台東区上野)、多慶屋(台東区台東)

若手アーティストと不忍池界隈の老舗店舗が共創して、新規商品開発をする様子を記録したドキュメンタリー映像を制作。その映像はオンライン配信されました。

また、上野松坂屋と多慶屋の店舗の一角を会場とし、映像と作品の展示も開催されました。

●若手アーティスト&不忍池界隈の老舗●

この企画では、若手アーティストと呉服や組紐、櫛、江戸指物、漆器、眼鏡、宝石などを扱う不忍池界隈の老舗がコラボレーションし、新規商品開発に取り組みました。

コラボレーションした10組はこちらの方々。

(老舗店舗名&アーティスト名)

池之端藤井(呉服)&ツルタシュリ、内保漆器店(漆器)&山田勇魚、京屋(江戸指物)&山田勇魚、小池屋(呉服)&塩見亮介、三共社(眼鏡)&佐々木怜央、十三や櫛店(櫛)×善養寺歩由、十字屋商店(宝石)&松永久瑠実、道明(組紐)&一ノ瀬健太、道明(組紐)&塩見亮介、道明(組紐)&トミモとあきな

●ドキュメンタリー映像●

不忍界隈の老舗店舗と若手アーティストとの商品共同開発の様子や新規商品開発秘話などの制作過程を撮影したドキュメンタリー映像が「藝を育むまち同好会ウェブサイト(特設ページ)」や「藝を育むまち同好会公式YouTubeチャンネル」にて配信されました。

藝を育むまち同好会公式 YouTube チャンネル

(https://www.youtube.com/channel/UCTEtNxYr_e2Zx18I_1YE1w)



藝を育むまち同好会ウェブサイト(特設ページ)

(<http://geiikukai.com/rediscoveryshinobazuwameguri/>)



三共社x佐々木怜央



三共社店舗スタッフさんにインタビューの様子



完成品の様子



制作の様子

●展示会●

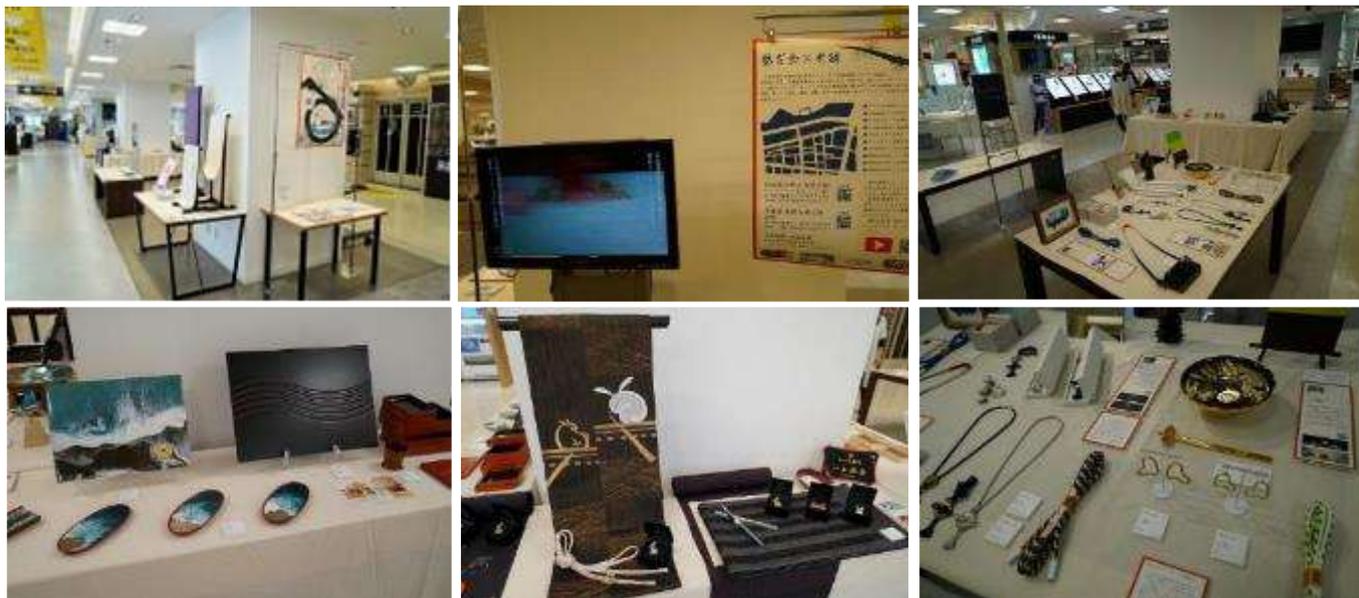
オンライン配信に加えて、台東区内にある松坂屋上野店と多慶屋にて展示会も開催されました。

各会場では、ドキュメンタリー映像の新規開発したアート商品とともにアーティストの作品や老舗店舗の紹介が行われました。お買い物途中で立ち寄られた方など、普段ギャラリーで出会うお客様とは違う方々と多く出会えた展示会となりました。

【松坂屋上野店本館2階（12月1日～7日）】 来場者数 1895人

壁の無い空間での展示はアート展示にみられる敷居の高さを感じることなく、気軽に入りやすい状況で関心を持ってみていただけるお客様が多かったようです。

（松坂屋上野店本館での展示の様子）



【多慶屋本館A棟4階（12月8日～12日）】 来場者 720人

多慶屋催事場の広いスペースを活用して、新規開発したアート商品を含め多様な作品が展示されました。

（多慶屋本館での展示の様子）



企画のスタート当初は、若手アーティストの柔軟な考え方やモノの見方が老舗店舗にとって良い刺激を与えるのではとの思いがあったそうですが、実際には老舗店舗のフットワークの軽さや商品に込める思いや商品の完成度の高さなど、若手アーティスト側が教えられる場面が数多くあり、双方にとって今回の出会いは新鮮なものとなったようです。